

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	16.7.16	美短	総務課	経理	-	-	-	2美総01	美短-1

業務名称	大学開放業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民に開かれた大学になる	18歳以上の市民で、「開かれた大学」と感じている割合。	-	4%(10,422人)		
担当業務目的	魅力ある大学にするために市民や地元企業・研究機関との交流を盛んにする	交流した人数	13,556人	15,000人	11人	813,014

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 交流をする体制を整える				8,920	(1) 参与会・教授会を開催する。 (2) ITの活用や、他大学と連携し優秀な教員を集める。 (3) 大学図書館を活用してもらうため、ITを活用し、蔵書を紹介する。企画展を開催する。 (4) 大学開放センター運営委員と協力し、交流をするための手段を考える。
教員の協力度(事務局長の評価) 体制を整えるための計画書を作成する。 優秀な教員を採用する。 大学図書館としての機能を充実させる。 大学開放センターと連携する。	-	40%			
02 市民に一度来てもらう				10,896	(1) 短大の目指す方向を正しく伝えるため、ホームページを充実させる。イベント時の校舎ライトアップ。 (2) 市民講演会を開催する。 (3) アトリエももさだのPRと事業を充実させる。市民開放講座の開催。ももさだ祭の開催。地元企業の受託事業。教職員と企業の共同研究の支援。ギャラリー棟での作品展示。
初来学者数 各種媒体を利用し、PRする。 大学の市民向け事業や、イベントの参加者を増やす。 アトリエももさだの体験者を増やす。	651人	50人増			
03 市民にたびたび訪れてもらう				-	(1) ホームページ上で事業・イベントを公開する。大学公開講座を開催する。 (2) 市民に図書館の閲覧を提供する。グランドや体育館の貸し出しを行う。レストハウスの一般開放。
リピーター数 生涯学習の機会を提供する。 施設の一部を開放する。	10,505人	100人増			
04 大学が市民を訪れる				-	(1) 講演会や教育機関への講師派遣。調査、審査、専門委員としての知識を提供していく。企業とのコラボレーションの支援。
対象人数 出前で、大学の知識を提供する。	2,400人	5%増			

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)				
05	10周年記念事業を成功させる		-	重点化事業 10周年記念事業 ・記念誌の発行 ・開学記念式典の開催 ・教員によるイベントの開催
	参加人数	- 1,000人		
	10周年記念事業を開催することにより、市民並びに新屋住民との交流を盛んにし、美短の存在をアピールする。			
99	庶務経理(短大)		793,198	H16終了事業(1)設備更新経費22,287 (2)展示室整備事業56,515